

第 34 回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

令和 7 年 12 月 25 日(木)に、第 34 回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院 A 棟 1 階大講義室(オーデトリウム)にて開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、院内外の医師、看護師、MSW、訪問看護師など参加され合計 30 名の参加者となりました。

当院の緩和ケアセンター乗安看護師長から開会の挨拶があり、各演者より以下の事例提示があった後、質疑応答を行いました。

事例：「終末期せん妄状態でも患者が希望する

在宅療養へ移行できた膀胱がん患者の一事例」

小野田赤十字病院 院長 佐藤 智充先生
訪問看護ステーション 結希(ゆき) 看護師 小川 のぞみ先生
山口大学医学部附属病院 泌尿器科 助教 岡 真太郎先生
B棟8階 看護師 石原 祐佳先生

この度は、多くの方々に検討会にご参加して頂き、誠にありがとうございました。

本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

《検討会風景》

